

大学名 国立大学法人香川大学

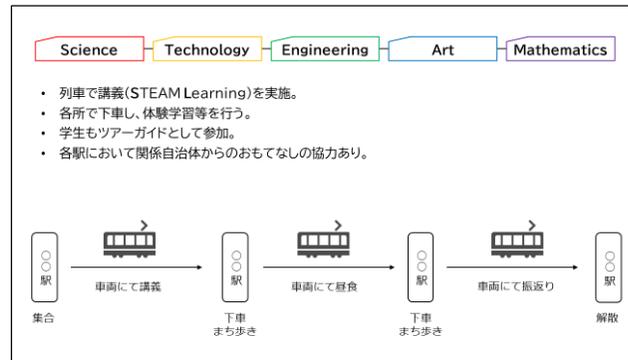
第67号 特集テーマ「大学と新しい学び」

表題 「STEAM Learning」の視点による、地域の魅力の再発見『四国鉄旅』

取り組み

香川大学では、「持続可能な地方分散型社会の実現に貢献する人材の育成と研究の推進」を第四期中期目標としており、その実現に向けて、地域の過去から現在を知り、未来地域を思考すること及びリベラルアーツ思考を有する人材の育成が重要である。そのため、JR四国と連携し、列車旅でリベラルアーツを学び、現地で地域の時空間特性を理解し、未来に向けた持続可能な社会の必要性を認識する共同研究を行っている。

地域の「知の拠点」である香川大学がリベラルアーツに関わる学びを提供し、JR 四国が「さぬきの魅力の再発見」の視点での列車運行を担うことで「STEAM Learning」の視点による“地域の魅力の再発見”と“地域に貢献する人材育成”を目的とした、鉄道ツアーを実施する。



特徴

- 「貸切列車内での特別講義」と「現地でのまちあるき」を組み合わせた「学びのツアー」で、地域の歴史文化を学ぶ。
- 鉄道を利用する斬新な取組みと座学とフィールドワークを組合わせた学習。
- 産官学協働、教職学協働で、垣根を越えた目標・課題を共有。
- 地域活性化、人材育成等の課題の解決に繋がる取組み。



ツアーの案内

第一回目の企画『地域の魅力の再発見「極め付け四国鉄旅～さぬきの文化探訪～」』を12月11日(日)に実施し、香川大学の教員・学生ガイドによる“貸切列車内での特別講義”と“現地でのまちあるき”を組合わせた「学びのツアー」で琴平町、多度津町の歴史文化について理解を深めた。ツアー参加者からは“大満足である”、“次回があれば必ず参加したい”などのお声をいただき、大盛況で終えることができた。



ツアーの様子

【参考URL】

・香川大学HP “STEAM Learning”の視点による、地域の魅力の再発見『極め付け四国鉄旅～さぬきの文化探訪～』を実施しました。

URL <https://www.kagawa-u.ac.jp/steam-learning/>